

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

アロマ&セラピスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordで表現力のある文書を作成することができる 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける プレゼン資料を作成できる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版 1年次使用)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	iPadでお礼状の作成	お礼状の作成			
第2回	2	Gmailとドライブ活用	メールの作成 添付ファイル Googleドライブの活用			
第3回	3	表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	表現力のある文書の作成	Word 図や図形を活用した文書の作成			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果 アニメーション効果 印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル 関数 表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用 ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	招待状を作成しよう	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	試験対策	Word 試験対策			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振り返り			
初回持ち物	iPad、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	Word、Excel、PowerPointの応用機能の学習して、活用方法を学びます。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	罫線を活用してカード作成	Word 差し込み印刷 予約カード作成			
第3回	3	作表とワークシートの操作	Excel 予約表作成、ワークシートの操作			
第4回	4	プレゼン作成	PowerPoint復習			
第5回	5	画像の編集と加工	Officeのフォトレタッチ機能			
第6回	6	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第10回	10	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第11回	11	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 宛名ラベル作成			
第12回	12	試験対策	Excel 試験対策1			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策2			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と後期の振り返り			
初回持ち物	USB、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1単位	後期	1単位	2年合計単位	2単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか／マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応／クレームの考え方			
第6回	6		そもそもストレスとは？ストレスの捉え方			
第7回	7	メンタルヘルス コントロール	ストレスの受け取り方／受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①			
第12回	12		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②			
第13回	13		言葉選びと伝え方			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説／FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1単位	後期	1単位	2年合計単位	2単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	後期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4		傾聴カレッシン/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴カレッシン/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	出席率	定期試験	○		筆記試験	
	定期試験や小テスト				実技試験	
	授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子・大内 博子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動を通じて、社会人としての理解を深め意識、心構えが出来るようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	就職活動進捗確認	就職活動進捗確認			
第2回	2	オンライン/印象	オンラインの仕方/第一印象の重要性			
第3回	3	就職活動マナー	カバーレター・封筒の書き方・ビジネスメール			
第4回	4		ビジネス電話について(掛ける/受ける)			
第5回	5		報連相、オフィスマナー			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッションについて			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	一般常識	一般常識問題について(計算)			
第9回	9		一般常識問題について(漢字)			
第10回	10	時事問題	社会問題について			
第11回	11	社会人マナー	暑中・残暑見舞い、年賀状			
第12回	12	ハラスメント	ハラスメント(パワハラ・カスハラ)・動画			
第13回	13	プロ・アマ	プロとアマチュアの違い			
第14回	14	見つめなおす	エゴグラム・上司との付き合い方			
第15回	15	夢・目標	目標を叶えるために			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル・タブレット					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-			-	
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (R2A:月1限/R2C:水2限/R2D:火1限/R2E:木3限/R2F:木3限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		マシュマロチャレンジ			
第3回	3	FUSに向けて	FUSについてアンケート(どのようなショーにしたいか)			
第4回	4		FUSについて内容			
第5回	5	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第6回	6		競技について話し合い			
第7回	7		競技について話し合い			
第8回	8	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーション (エスグラ事前課題)			
第9回	9		クラスコミュニケーション (エスグラ事前課題、詳細伝達)			
第10回	10	学園祭	学園祭について(出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	夏休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校につ			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-			-	
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	目標・FUS	後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴			
第2回	2	FUS	FUSについて			
第3回	3	学園祭	企画書作成 / 概要詳細決め			
第4回	4	学園祭	ルール説明			
第5回	5	学園祭／スポーツ大会	概要説明			
第6回	6	スポーツ大会	出場競技決め			
第7回	7	スポーツ大会	ルール説明			
第8回	8	FUS	演出について			
第9回	9	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第10回	10	FUS	個人コンセプトシート作成・提出			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要	生理学で学んだ解剖生理学・運動生理学・心身生理学の内容を復習しその3つの生理学をより深く学ぶとともに、現場でのアドバイスに使う知識を学習します。					
到達目標	AEAセンター筆記試験に合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	人体の成り立ち	細胞・組織・器官			
第2回	2	骨格系	骨とは・全身の骨格			
第3回	3	筋系	筋系			
第4回	4	筋系	全身の筋肉			
第5回	5	神経系	中枢神経・末梢神経			
第6回	6	神経系・消化器系	消化器系のあらし			
第7回	7	消化器系	各消化器官			
第8回	8	呼吸器系	呼吸器官			
第9回	9	循環器系	循環器官			
第10回	10	内分泌系	内分泌器官			
第11回	11	泌尿器系	泌尿器官			
第12回	12	生殖器系	生殖器官			
第13回	13	期末テスト対策	試験筆記例題集			
第14回	14	期末テスト	授業内範囲			
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック			
初回持ち物	教科書(③解剖生理学)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要	人を美しく、身体のコンドディションを整えるためには、身体の内側の構造を知らないと働きかけることができません。脳、神経系・内分泌系・免疫系やストレスなどの心身生理学などの基礎知識を学びます。					
到達目標	エステティシャンセンター試験に対する基礎知識を習得していく。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ホメオスタシス①	外部環境への適応			
第2回	2	ホメオスタシス②	内分泌系・免疫系とホメオスタシス			
第3回	3	免疫①	自己と非自己			
第4回	4	免疫②	免疫の種類			
第5回	5	免疫③	免疫異常			
第6回	6	ストレス①	ストレスとその正体			
第7回	7	ストレス②	ストレス耐性			
第8回	8	ストレス③	ストレスとホメオスタシス			
第9回	9	ストレス④	ストレスと病気			
第10回	10	問題集	AEA問題集			
第11回	11	期末テスト	期末テスト			
第12回	12	テスト返却	テスト解説			
第13回	13	試験対策	AEA対策			
第14回	14	まとめ	実践での基礎知識			
第15回	15	まとめ	実践での基礎知識			
初回持ち物	心身生理学の教科書					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	化粧品学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	化粧品の成分について			
第2回	2	法律とルール	化粧品の法律(薬機法について)			
第3回	3	基礎化粧品の品質	品質と特性			
第4回	4	基礎化粧品の分類	基礎化粧品の役割			
第5回	5	洗浄化粧品	クレンジング・洗顔の商品			
第6回	6	整肌化粧品	化粧水・乳液・クリームの商品			
第7回	7	活性化化粧品	美容液などの賦活化粧品			
第8回	8	メイクアップ料	役割と分類			
第9回	9	ベースメイク	ファンデーションなどの商品			
第10回	10	ポイントメイク料	アイメイク用品			
第11回	11	問題集	センター問題集			
第12回	12	問題集	センター問題集			
第13回	13	テスト対策	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説			
初回持ち物	教科書(化粧品学5番)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑧サロンマネジメント&法規					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説とまとめ			
初回持ち物	教科書(⑧サロンマネジメント&法規)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	電気機器学&脱毛学			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1単位	後期	-	2年合計単位	1単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標	機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑦電気学と⑩脱毛学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	電気学とは	電気機器学とは			
第2回	2	エステティック機器	施術用機器			
第3回	3	電気の原理	電気の基礎知識			
第4回	4	身体と電気の関係	エステ利用の電気について			
第5回	5	問題集	センター試験の問題			
第6回	6	脱毛学について	脱毛の歴史			
第7回	7	脱毛学概論	脱毛法の分類			
第8回	8	毛髪概論	毛とホルモン			
第9回	9	病気と脱毛	血液感染など			
第10回	10	衛生管理	衛生管理・滅菌・消毒			
第11回	11	カウンセリング	カウンセリングの盲点と要点			
第12回	12	ワックス脱毛	施術方法の分類			
第13回	13	問題集	センター試験の問題			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説			
初回持ち物	教科書(⑦電気機器学)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステ資格取得対策			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	鮎川 静菜					
	実務経験	有	理論や実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら、検定合格を目指す。			
目的及び概要	この授業の目的はセンター筆記試験「合格」を目的とした授業です。認定エステティシヤンの資格を取得する事で自身が活躍できる幅を広げることができます。エステティシヤンとして技術だけではなく基礎知識を持っていることも条件となります。 【進め方】定められた範囲の自習(15分)/20問程度のミニ模試(20分)/解説(15分)					
到達目標	AEA認定エステティシヤンセンター筆記試験合格 筆記試験本番2025年1月17日(金) ※試験の日程に合わせて授業の変動有り 放課後に補講を行います。合格点は80点					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	エステティシヤンセンター試験 筆記試験例題集					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	勉強と小テスト	エステティック概論、心身生理学 範囲全て			
第2回	2		皮膚科学 範囲全て			
第3回	3		解剖生理学範囲全て			
第4回	4	70問確認模試①	皮膚科学、解剖生理学 全範囲			
第5回	5	勉強と小テスト	栄養学 範囲全て			
第6回	6		関連法規、救急法、衛生消毒			
第7回	7		化粧品学、電気・機器学			
第8回	8		運動生理学・カウンセリング・マネジメント			
第9回	9		フェイシャル実技理論・ボディ実技理論・ワックス脱毛			
第10回	10	100模擬試験	全範囲			
第11回	11					
第12回	12	100問模試※期末試験	全範囲 期末試験			
第13回	13					
第14回	14	検定本番 1/17	全範囲 100問模試			
第15回	15					
初回持ち物	筆記用具、例題集、エステティック概論・心身生理学教科書 ※1/16 前日の放課後も100問模試実施					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	薬膳入門			クラス名	R2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有		セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。		
目的及び概要	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。毎日の食事、生活を整えることが、健康や美容に繋がります。自分が元気になる、美しくなるための薬膳を、理論を学び、実践を行いながら、身につけます。					
到達目標	自分の体調や体質を知る事、それに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整える、自分が美しくなることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション	オリエンテーション			
第2回	2	薬膳体験①	薬膳カウンセリング体験 ・薬膳体質(気血水・臓腑)の復習を行う ・相手の体や心の健康状態を聞くデモンストレーションを見て、食事や生活でできるアドバイスをを行う体験をする。			
第3回	3	薬膳体験②				
第4回	4	薬膳体験③				
第5回	5	薬膳体験④				
第6回	6	薬膳体験⑤				
第7回	7	体質別薬膳①	冷えについて/毎日の食事のできる体質別の冷えケアとレシピ作りを学ぶ			
第8回	8	体質別薬膳②	月経痛について/毎日の食事のできる体質別の月経痛ケアとレシピ作りを学ぶ			
第9回	9	体質別薬膳③	美肌について/毎日の食事のできる体質別の美肌ケアとレシピ作りを学ぶ			
第10回	10	体質別薬膳④	体質別の薬膳茶を体験する			
第11回	11	体質別薬膳⑤	プレゼンテーション準備			
第12回	12	プレゼンテーション	体質別薬膳①～③を学んだ上で自分に合う食生活体験のプレゼンテーション			
第13回	13	試験対策	試験対策			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	最終まとめ	試験振り返りほか			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティックフェイシャル実技			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	4単位	後期	-	2年合計単位	4単位
担当講師	石毛 彩花・細谷 知永					
	実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力、マナー等を伝え、ボディ技術を習得する。			
目的及び概要	センター試験合格に向けて、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パック、についてを学び、肌状態に合わせてフェイシャルコースの選択が出来るように知識、技術を身に付けていきます。 2年生前期の目標『人から真似される人になる』を心がけて行動していきましょう					
到達目標	クレンジング、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パックの知識や技術を習得し、肌タイプ・お悩みに合わせたコース選択をし、センター試験の合格を目指していきます。					
授業運営方法	演習形式・講義形式					
教科書	フェイシャル実技理論・皮膚科学・栄養学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	クレンジング・マッサージ強化	クレンジング・マッサージ強化			
第2回	5-8	スクラブ	Pクレ・クレンジング・スクラブ(デモ)・マッサージ練習			
第3回	9-12	酵素	Pクレ・クレンジング・酵素(デモ)・マッサージチェック			
第4回	13-16	カウンセリング・パック	Pクレ・クレンジング・カウンセリング・マッサージパック練習			
第5回	17-20	選択したディープクレンジング	カウンセリング・ディープ・マッサージ・パック			
第6回	21-24	センター実技試験練習	試験モデルに合わせたコースで練習 Pクレ・クレ・カウ・ディープ・マッサージ・パック コンサルシート・口頭試問			
第7回	25-28					
第8回	29-32					
第9回	33-36					
第10回	37-40	センター試験対策	模擬試験前練習・コンサル・口頭試問強化			
第11回	41-44					
第12回	45-48	期末・模擬試験	期末試験・模擬試験			
第13回	49-52	フィードバック・調整	フィードバック ※調整練習			
第14回	53-56	検定試験本番	センター実技試験本番			
第15回	57-60	お楽しみ	お楽しみ			
初回持ち物	□筆記用具 □メモ帳 □ロープ □シーツ □タオル6枚(うち2本HOTタオル) □5色ペン □鏡 □タイマー □ビニール袋 □実技ファイル □タオルハンカチ又はハンドタオル □マスク □キャミソールとくつ下 ※着用してくること					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		スパトリートメント		クラス名	R2C	
1年単位		前期	-	後期	4単位	1年合計単位 4単位
2年単位		前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位 8単位
担当講師		鮎川 静菜・細谷 知永				
		実務経験	有	現在までのサロン経験を元に、お客様に合ったさまざまな施術や対応を伝え習得していく。		
目的及び概要		ロミロミの全面・アロマトリートメント・タイ古式マッサージなどより深い技術まで学んでいきます。また、ホットストーンやかっさなど応用となる技術も習得し、お客様に合わせたコースを提案できるように学習します。				
到達目標		様々な技術の体感や実践を通してそのお客様の身体やお肌に合ったコースのプランニングが立てられるようにすること。				
授業運営方法		演習形式・講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		前期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	オリエンテーション / ロミロミデモ	授業説明 / ロミロミ(表脚) / 技術練習			
第2回	5-8	ロミロミ技術練習/オプション練習	足湯 / ロミロミ練習(脚表メイン)			
第3回	9-12		かっさ / ロミロミ練習(脚表メイン)			
第4回	13-16		ホットストーン / ロミロミ練習(全身)			
第5回	17-20		アロマトリートメント(背中デモレーション)/技術練習			
第6回	21-24	アロマトリートメント技術習得	アロマトリートメント(背中)技術練習			
第7回	25-28		アロマトリートメント(背中)技術練習			
第8回	29-32		アロマトリートメント(背中)技術練習			
第9回	33-36		アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第10回	37-40		アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第11回	41-44		アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第12回	45-48		アロマトリートメント(背面通し)技術練習			
第13回	49-52		アロマトリートメント(背面通し)技術練習			
第14回	53-56		期末試験練習			
第15回	57-60		期末試験(アロマトリートメント)			
初回持ち物		実技ファイル、メモ帳、筆記用具、タイマー、ハンカチ、ビニール袋 シーツ、ロープ、タオル5枚、ホットタオル4本 ※ギャルソン、パレオ、髪型:お団子(お辞儀した際、髪の毛落ちてこないようにまとめる)一本縛りNG。				
成績評価方法		・出席率 ・定期試験や小テスト ・授業参加意欲	定期試験	○	筆記試験 実技試験 課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		スパトリートメント		クラス名	R2C	
1年単位		前期	-	後期	4単位	1年合計単位 4単位
2年単位		前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位 8単位
担当講師		鮎川 静菜・細谷 知永				
		実務経験	有	現在までのサロン経験を元に、お客様に合ったさまざまな施術や対応を伝え習得していく。		
目的及び概要		アロマトリートメント・タイ古式マッサージなどより深い技術まで学んでいきます。また、さまざまな商材やオプションなども取得し、現場で活用できるような技術取得を目指します。				
到達目標		様々な技術の体感や実践を通してそのお客様の身体やお肌に合ったコースのプランニングが立てられるようにすること。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	漢方アロマ	漢方アロマオイル(背中)			
第2回	5-8		漢方アロマオイル(脚背面)			
第3回	9-12		漢方アロマオイル(全身)			
第4回	13-16	タラソ	タラソ商材使用コース			
第5回	17-20	フェイシャル	フェイシャル			
第6回	21-24		フェイシャル			
第7回	25-28		フェイシャル			
第8回	29-32	タイ古式マッサージ デモンストレーション	タイ古式マッサージ(背面)			
第9回	33-36		タイ古式マッサージ(前面)			
第10回	37-40		タイ古式マッサージ練習①			
第11回	41-44	タイ古式マッサージ練習	タイ古式マッサージ練習②			
第12回	45-48		タイ古式マッサージ練習③			
第13回	49-52		期末試験			
第14回	53-56	お楽しみ授業	お楽しみ授業			
第15回	57-60		お楽しみ授業			
初回持ち物		実技ファイル、メモ帳、筆記用具、タイマー、ハンカチ、ビニール袋 シーツ、ロープ、タオル5枚、ホットタオル4本 ※ギャルソン、パレオ、髪型:お団子(お辞儀した際、髪の毛落ちてこないようにまとめる)一本縛りNG。				
成績評価方法		・出席率 ・定期試験や小テスト ・授業参加意欲	定期試験	○	筆記試験 実技試験 課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディリラクゼーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	葛巻 健太郎					
	実務経験	有	実務経験15年。現場経験をもとに就職後に通用する確かな技術と知識を身につけていただけるよう指導する。			
目的及び概要	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。 血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に披露できる技術と知識を学んでいきます。					
到達目標	サロン運営にて、お客様に提供できる知識と技術を学んでいきます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	身体の仕組み 各部所ボディケア について	体感、歪み検査 手技技法(掌圧、叩打、はく打)			
第2回	4-6		ボディケア 腰ほぐし・臨床			
第3回	7-9		ボディケア 肩ほぐし・臨床			
第4回	10-12		ボディケア 脚ほぐし・臨床			
第5回	13-15	ボディケアについて 基本実技練習・マッサージ効果	ボディケア実技			
第6回	16-18		全身ほぐし (背中～脚まで)			
第7回	19-21		ストレッチ(肩)			
第8回	22-24		臨床			
第9回	25-27					
第10回	28-30					
第11回	31-33	臨床学・実技	頭痛について・対処方法			
第12回	34-36	臨床学・実技	腰痛について・対処方法			
第13回	37-39	臨床学・実技	肩こりについて・対処方法			
第14回	40-42	期末テスト	期末テスト			
第15回	43-45	振り返り	前期振り返り			
初回持ち物	筆記用具・服装はギャルソン・髪が束ねること・アクセサリなし					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディリラクゼーション			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	葛巻 健太郎					
	実務経験	有	実務経験15年。現場経験をもとに就職後に通用する確かな技術と知識を身につけていただけるよう指導する。			
目的及び概要	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。 血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に披露できる技術と知識を学んでいきます。					
到達目標	サロン運営にて、お客様に提供できる知識と技術を学んでいきます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第2回	4-6	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第3回	7-9	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第4回	10-12	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第5回	13-15	骨盤矯正	骨盤ベルトの巻き方・手順・実技			
第6回	16-18	骨盤矯正	手順・実技			
第7回	19-21	骨盤矯正	手順・実技			
第8回	22-24	骨盤矯正	手順・実技			
第9回	25-27	骨盤矯正	手順・実技			
第10回	28-30	骨盤矯正	手順・実技			
第11回	31-33	臨床実技	座骨神経痛について・対処方法			
第12回	34-36	臨床実技	ぎっくり腰について・対処方法			
第13回	37-39	臨床実技	骨盤の歪みについて・対処方法			
第14回	40-42	期末テスト	期末テスト			
第15回	43-45	振り返り	後期振り返り			
初回持ち物	筆記用具・服装はギャルソン・髪が束ねること・アクセサリなし					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リラクゼーションサロン			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6単位	後期	6単位	2年合計単位	12単位
担当講師	鮎川 静菜 ・ 細谷 知永					
	実務経験	有	エステティシャン・セラピストの経験をもとに卒業後、即戦力となる様、技術と知識・カウンセリング力や接客接客マナーの応用を指導する事ができる。			
目的及び概要	学内サロン運営を目標に、様々な技術習得をしていき、接客スキルを磨きます。定期的に一般のお客様をお呼びし、運営を通して技術力と接客力の向上を目指します。					
到達目標	サロン運営の成功・実践力をつける・接客カスキルの向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	サロン運営について	サロン運営/カウンセリング/サンクスレター/接客の流れについて			
第2回	7-12	カウンセリング	接客練習			
第3回	13-18	役割決め/内装作成	内装や内容について			
第4回	19-24		内装について/作成物			
第5回	25-30		資料作成/マニュアル作成			
第6回	31-36	技術練習	技術練習			
第7回	37-42		本番同様接客から施術練習			
第8回	43-48	リハーサル	リハーサル			
第9回	49-54	最終調整	本番に向けて最終調整			
第10回	55-60	サロン運営本番	サロン運営本番①			
第11回	61-66	振り返り/反省	反省会・技術向上			
第12回	67-72	サロン運営本番	サロン運営本番②			
第13回	73-78		サロン運営本番③			
第14回	79-84		サロン運営本番④			
第15回	85-90		前期反省・サンクスレター	サンクスレター・前期振り返り		
初回持ち物	筆記用具/サロン運営資料を入れるファイル ※初回は私服可。					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リラクゼーションサロン			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6単位	後期	6単位	2年合計単位	18単位
担当講師	有村 直美・鮎川 静菜					
	実務経験	有	エステティシャン・セラピストの経験をもとに卒業後、即戦力となる様、技術と知識・カウンセリング力や接客接客マナーの応用を指導する事ができる。			
目的及び概要	学内サロン運営を目標に、様々な技術習得をしていき、接客スキルを磨きます。定期的に一般のお客様をお呼びし、運営を通して技術力と接客力の向上を目指します。					
到達目標	サロン運営の成功・実践力をつける・接客カスキルの向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	話し合い	後期内容話し合い・制作物作成			
第2回	5-8		制作物作成/技術練習			
第3回	9-12	技術練習	技術練習①			
第4回	13-16		技術練習②			
第5回	17-20	リハーサル	内装作成・リハーサル/最終確認			
第6回	21-24	サロン運営本番	サロン運営本番①			
第7回	25-28	反省会	サンクスレター・反省会			
第8回	29-32	サロン運営本番	サロン運営本番②			
第9回	33-36	反省会	サンクスレター・反省会			
第10回	37-40	サロン運営本番	サロン運営本番③			
第11回	41-44	リハーサル	流れ確認・技術練習			
第12回	45-48	サロン運営本番	サロン運営本番④			
第13回	49-52	反省会	サンクスレター・反省会			
第14回	53-56	卒業制作	卒業制作			
第15回	57-60	お楽しみ	お楽しみ授業			
初回持ち物	実技ファイル・前期リラクゼーションサロン内で使用した書類・初回は私服可。					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アロマセラピー			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2単位	後期	2単位	2年合計単位	4単位
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	<p>体感→理解へと導きます。アロマ資格は既に取得している為、随時基礎知識の再確認とテキストにはない新しい香りについて探求します。将来起こり得るであろうケースも考慮し、アロマカウンセリングスキルの向上やブレンドセレクトの練習。2年後期のレクチャー試験に備え自主的に発表する機会を数回行い、クラフトの種類も(グループワークで)アレンジするなど、クリエイティブな質の向上も目指します。</p>					
到達目標	<p>代替療法の知識を増やして、アロマ初心者(クライアント様等)に向け自分の言葉で完結にお伝えできる人になる。アロマ(カラー)セラピーを通してより良いコミュニケーションのスキルを身につけます。</p>					
授業運営方法	<p style="text-align: center;">(演習形式) ・ 講義形式</p>					
教科書	1年で使用したテキスト2冊					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	香りの歴史①	古人の香り・香道・時代別の考察			
第2回	3・4	香りの歴史②	グループ発表			
第3回	5・6	クラフト① 小テスト(a)	ハーブボール作成 復習小テスト(1回目)			
第4回	7・8	臭覚と色彩心理・ブレンドのご提案	香りを色や言葉でより分かりやすく表現			
第5回	9・10	カウンセリングスキル	カウンセリングとトリートメントオイルのご提案			
第6回	11・12	アロマトリートメントの体験	リラクゼーション系トリートメント実技(BTT技術・デコルテ&頭部)			
第7回	13・14	肩こりについて講義と実習	理論とオリジナル手技の実施			
第8回	15・16	クラフト① 小テスト(a)	アイピロー作成			
第9回	17・28	ケモタイプの紹介 クラフト③小テスト(b)	リップクリーム作成 復習小テスト(2回目)			
第10回	29・20	アロマの感染症対策について	自分のカラダは自分で守るエビデンスに基づくアロマアプローチ法			
第11回	21・22	クラフト自主制作について	作成提案、基材計算、手順の確認			
第12回	23・24	自由課題(クラフト)	自由課題の作成・復習小テスト(c)(3回目)			
第13回	25・26	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第14回	27・28	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第15回	29・30	試験予備日	個人レクチャー(実技試験)			
初回持ち物	ipad 指定テキスト2冊					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アロマセラピー			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2単位	後期	2単位	2年合計単位	4単位
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	体感→理解へと導きます。アロマ資格は既に取得している為、随時基礎知識の再確認とテキストにはない新しい香りについて探求します。将来起こり得るであろうケースも考慮し、アロマカウンセリングスキルの向上やブレンドセレクトの練習。2年後期のレクチャー試験に備え自主的に発表する機会を数回行い、クラフトの種類も(グループワークで)アレンジするなど、クリエイティブな質の向上も目指します。					
到達目標	代替療法の知識を増やして、アロマ初心者(クライアント様等)に向け自分の言葉で完結にお伝えできる人になる。アロマ(カラー)セラピーを通してより良いコミュニケーションのスキルを身につけます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	指定テキスト2冊及び適宜ハンドアウトを配布					
<授業計画>	後期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	香りの歴史①	古人の香り・香道・時代別の考察			
第2回	3・4	香りの歴史②	グループ発表			
第3回	5・6	クラフト① 小テスト(a)	ハーブボール作成 復習小テスト(1回目)			
第4回	7・8	嗅覚と色彩心理・ブレンドのご提案	香りを色や言葉でより分かりやすく表現			
第5回	9・10	カウンセリングスキル	カウンセリングとトリートメントオイルのご提案			
第6回	11・12	アロマトリートメントの体験	リラクゼーション系トリートメント実技(BTT技術・デコルテ&頭部)			
第7回	13・14	肩こりについて講義と実習	理論とオリジナル手技の実施			
第8回	15・16	クラフト① 小テスト(a)	アイピロー作成			
第9回	17・28	ケモタイプの紹介 クラフト③小テスト(b)	リップクリーム作成 復習小テスト(2回目)			
第10回	29・20	アロマの感染症対策について	自分のカラダは自分で守るエビデンスに基づくアロマアプローチ法			
第11回	21・22	クラフト自主制作について	作成提案、基材計算、手順の確認			
第12回	23・24	自由課題(クラフト)	自由課題の作成・復習小テスト(c)(3回目)			
第13回	25・26	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第14回	27・28	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第15回	29・30	試験予備日	個人レクチャー(実技試験)			
初回持ち物	アロマテキスト2冊・ノート(B5サイズ)※ルーズリーフNG ※第10回目終了後ノート提出					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位	8単位
担当講師	鈴木瞳					
	実務経験	有	日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画及び実践ができるセラピストを育てる。			
目的及び概要	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】主催のリフレクソロジー・プロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。					
到達目標	最終的にお客様に技術披露のできる状態が目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト/コンディションチェックシート					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	リフレクソロジー 理論1 及び演習1	・リフレクソロジーの定義、基本の指使い ・リラクステクニック(オープニング)			
第2回	5-8	リフレクソロジー 理論2 及び演習2	・足の観察 ・テクニク(横隔膜&ソーラープレクサス~前頸部/後頸部)			
第3回	9-12	リフレクソロジー 理論3 及び演習3	・カウンセリング、コンサルテーション ・テクニク(脳下垂体~歯/歯肉/顔/顎)			
第4回	13-16	リフレクソロジー 理論4 及び演習4	・効果、反応例 ・テクニク(リンパ(頭部/頸部)~バランス)			
第5回	17-20	リフレクソロジー 理論5 及び演習5	・リフレクソロジストとしての心得 ・リラクステクニック(肩のポイント/肩/リンパ(腋窩)~食道/気管/気管支/肺/			
第6回	21-24	リフレクソロジー 理論6 及び演習6	・リフレクソロジーの歴史 ・テクニク(胸部/肋骨/リンパ/肺/上背部~上腹部)			
第7回	25-28	演習7	・禁忌事項 ・テクニク(胆のう~膵臓のポイント/心臓(ポイント/ゾーン)~膵臓の			
第8回	29-32	リフレクソロジー 理論7 及び演習8	・コンディションチェックシートの充実 ・テクニク(下腹部/小腸~坐骨)			
第9回	33-36	リフレクソロジー 理論8 及び演習9	・衛生管理 ・テクニク(脊椎~直腸/肛門/骨盤)			
第10回	37-40	リフレクソロジー 理論9 及び演習10	・栄養学と食生活 ・テクニク(腎臓/尿管~副腎)			
第11回	41-44	リフレクソロジー 理論10 及び演習11	・アロマセラピーの活用 ・テクニク(子宮/前立腺~股関節/リンパ/単徑部/骨盤(股間))			
第12回	45-48	リフレクソロジー 理論11 及び演習12	・ハーブティの活用方法 ・テクニク(ブースト~横隔膜&ソーラープレクサス)			
第13回	49-52	リフレクソロジー 理論12 及び演習13	・ヒーリング音楽の活用 ・リラクステクニック(エンディング)			
第14回	53-56	期末テスト	・期末テスト(筆記/実技)			
第15回	57-60	演習14	・期末テスト返却 ・ケーススタディ(コンサルテーション~足の観察~施術~所見まで行う)			
初回持ち物	服装はビューティープログラム同様、ギャルソン着用です 使用テキスト等は初回時に配布します。エステーツ1枚 フェイスタオル1枚					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価	基準(右記合点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	R2C		
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-	
2年単位	前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位	8単位	
担当講師	鈴木瞳						
	実務経験	有	日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画及び実践ができるセラピストを育てる。				
目的及び概要	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】主催のリフレクソロジー・プロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。						
到達目標	最終的にお客様に技術披露のできる状態が目標						
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式						
教科書	日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト/コンディションチェックシート						
<授業計画>	後期						
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1-4	ハンドリフレクソロジー/オイルトリートメント					
第2回	5-8	キャタピラーウォーク・ラウンドキープ コンディションチェックシートの向上	・統合医療としてのリフレクソロジー ・リフレクソロジー実技の完成度と高める				
第3回	9-12		・不調別リフレクソロジー ・リフレクソロジー実技の完成度と高める				
第4回	13-16		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(便秘) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める				
第5回	17-20		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(高血圧) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める				
第6回	21-24		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(糖尿病) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める				
第7回	25-28		実技演習・クライアントの体調に合わせた施術計画～実践～アドバイスまで				
第8回	29-32		(リフレクソロジストとしての身のこなし・表情なども、認定試験に向けてより全体的に完成度を高める)				
第9回	33-36		(リフレクソロジストとしての身のこなし・表情なども、認定試験に向けてより全体的に完成度を高める)				
第10回	37-40		授業内テスト(学科・実技)				
第11回	41-44		キャタピラーウォーク・ラウンドキープ コンディションチェックシートの向上	認定試験 学科・実技試験対策			
第12回	45-48	認定試験 学科・実技試験対策					
第13回	49-52	認定試験 学科・実技試験対策					
第14回	53-56	認定試験 学科・実技試験対策					
第15回	57-60	認定試験・実技試験					
初回持ち物	実技授業の準備、 日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト及びコンディションチェックシート						
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○	実技試験		
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価	基準(右合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名	ヨガピラティス			クラス名	R2C	
1年単位	前期	-	後期	2単位	1年合計単位	2単位
2年単位	前期	-	後期	2単位	2年合計単位	2単位
担当講師	岩木 浩子					
	実務経験	有	グループ指導の経験を活かして、運動の必要性や楽しさを伝える。			
目的及び概要	ピラティスの基本的な原理原則とトレーニング原則を統合しメディカルなコンディショニング要素を目的とし実践することで健康を維持改善することが可能になる。					
到達目標	ピラティスのポーズを体得。解剖学などの会得、指導方法を学ぶ。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	ピラティスとは①	ピラティスの歴史と創設			
第2回	3・4	ピラティスとは②	エクササイズ準備・評価5クエスチョン			
第3回	5・6	効果	ピラティスでガチガチ身体が変わる?!			
第4回	7・8	原則	集中力・コントロール・センタリング			
第5回	9・10	要素	ストレンクス・スタビライゼーション			
第6回	11・12	姿勢・背骨のアライメント	良い姿勢とは? 姿勢をチェックしよう!			
第7回	13・14	解剖学①	コア・スタビライゼーション			
第8回	15・16	解剖学②	肩甲骨・骨盤・体幹・股関節			
第9回	17・28	呼吸の実践	身体の動きに合わせた呼吸の練習			
第10回	29・20	ポーズ・指導①	ポーズ・指導の実践			
第11回	21・22	ポーズ・指導②	ポーズ・指導の実践			
第12回	23・24	期末試験対策①	試験対策①			
第13回	25・26	期末試験対策②	試験対策②			
第14回	27・28	期末試験	筆記・実技			
第15回	29・30	フィードバック・卒業レッスン	筆記試験返却・先生方をお招きしてレッスンを実施			
初回持ち物	運動に適した服装・筆記用具・ヨガ用ファイル					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				